

●演目紹介



1、結城座の歴史と人形の遣い方の解説

大石学教授と結城座人形遣いが、初めての方にもわかりやすく江戸文化のひとつである「江戸糸あやつり人形」の歴史と技法や、演目について説明します。

2、三番叟 さんばそう

結城座に最も古くから伝わる演目の一。

五穀豊穣（ごこくほうじょう）を祈って舞われるこの踊りは、様々な意味を持った動きが出てきます。
今回ご覧頂くのは「もみだし」と呼ばれる動きの激しく見ごたえのあるところをご覧頂きます。

3、寿獅子 ことぶきじし

結城座に最も古くから伝わる演目の一。

獅子の吠え声は厄（やく）を払うといわれ、お正月や祭りで舞われる獅子舞。

結城座の獅子舞では、のどかな獅子、蝶を追う獅子、逃げられて怒り狂う獅子の様子をお見せ致します。

通常使われる人型の人形に使われる四角い操作盤「手板（ていた）」とは異なる、特殊な2枚の手板を駆使して違うところも見どころです。

4、伽羅先代萩 政岡の忠義の段より めいぼくせんだいはぎ まさおかちゅうぎのだん

1785年（天明5年）に結城座に書き下ろされた芝居で、評判になり、その後、歌舞伎や文楽においても度々上演され、今日でも度々上演される名作。江戸時代に実際に伊達藩で起こったお家騒動が基になっています。

主君のために、衆前でわが子を見殺しにせざるを得なかった政岡が、1人になり、わが子を失った悲しみを吐露し、嘆き悲しむ名場面です。

代々伝わる伝統の演目を十二代目結城孫三郎が演じます。

5、「伊達娘恋緋色鹿子 火の見櫓の場」だてむすめこいのひがのこ ひのみやぐらのば

通称：八百屋お七

江戸時代の実話－天和元年（1681年）の江戸本郷の大火－をもとに作られた芝居です。井原西鶴の『好色五人女』にも取り上げられた「八百屋お七」の物語です。

八百屋九兵衛の娘お七は、恋人の吉三郎（駒込吉祥寺の寺小姓）が探索中の宝剣（天国（あまくに）の剣）のありかを知ります。しかし、吉三郎へ知らせようにもあいにく夜中で町々の木戸が閉まっていて通行できません。明朝までにその剣がなくば吉三郎は切腹。お七は吉三郎を救いたい一念から、木戸を開かせようと、火刑を覚悟で雪の降りしきるなか火の見櫓に上り出荷の太鼓（家の時意外は禁じられている）を打ち鳴らす。

暮れも押し迫った雪の夜に繰り広げられる、美しくも哀しいお七の物語です。

6、「本朝二十四孝 奥庭狐火の段」ほんちょうにじゅうしこう おくにわきつねびのだん

上杉謙信の息女八重垣姫の物語。八重垣姫の許婚である武田勝頼は、武田家の秘宝・諏訪法性の兜を取り戻すため、上杉家に忍び込んでいます。勝頼の正体を見抜いた謙信は勝頼を暗殺しようと使者に出します。それを知った八重垣姫は勝頼を助けるために、奥庭で兜に祈ります。兜に憑いている狐の靈が、八重垣姫を守り、姫は氷の張り詰めた諏訪湖を渡り、勝頼に急を知らせます。

高貴な姫君の一途な恋の力が生み出す、奇跡の物語です。

●日時

平成29年7月7日（金）18:30～、7月8日（土）14:00～
ロビーにて展示を同時開催

●チケット

全席自由 一般1,800円 学生500円

購入方法

- ・**結城座** 042-322-9750 （平日10時～18時）
- ・インターネット <http://www.youkiza.jp/>内のチケットフォームよりお申込みください。

●結城座（東京都無形文化財／国記録選択無形民俗文化財）

江戸時代の1635年に初代結城孫三郎が旗揚げ以来、現在の十二代目結城孫三郎まで383年の歴史を持つ江戸糸あやつり人形芝居の一一座。

「伽羅先代萩」ほか数々の名作を上演し、平賀源内（筆名：福内鬼外）からの書下ろし戯曲も保有している。古典公演のみならず、現代作家による新作公演、海外公演、国際共同制作など様々な活動を行っている。

●十二代目結城孫三郎

十代目結城孫三郎の次男として生まれ、4歳で初舞台。11歳から武智鉄二主宰、武智歌舞伎座に入門。能は観世栄夫、狂言は茂山千之丞の教えを受けながら、人形遣いの修行を重ね、1972年写し絵家元三代目両川船遊を襲名。1993年十二代目結城孫三郎を襲名。芸歴は約70年。女形の名手と呼ばれ、今回は女三種を披露する。

●大石学：東京学芸大学教授・副学長、近世史学者、時代考証学会会長。NHK大河ドラマ「新選組！」「篤姫」「龍馬伝」「八重の桜」「花燃ゆ」等の時代考証も手掛ける江戸文化の大家。専門的な事柄を、一般にわかりやすく説明することに定評がある。



●会場

東京学芸大学 芸術館（学芸の森ホール）
正門入って左に約1分

◎バスの場合

JR武蔵小金井駅・北口より
京王バス【5番バス停】【小平団地行】⇒学芸大正門・下車
または
京王バス【6番バス停】【中大循環】⇒学芸大東門・下車

◎徒歩の場合

JR武蔵小金井駅より約20～25分／JR国分寺駅より約18分